



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月6日

上場会社名 東都水産株式会社

上場取引所 東

コード番号 8038 URL <http://www.tohsui.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江原 恒

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 田中 浩

TEL 03-6633-1005

四半期報告書提出予定日 2019年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	56,338	1.3	188	51.3	311	47.1	221	48.9
2019年3月期第2四半期	55,621	0.9	388	28.4	589	0.5	433	2.9

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 188百万円 (101.0%) 2019年3月期第2四半期 93百万円 (79.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	57.75	
2019年3月期第2四半期	109.31	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	29,241	15,867	54.3	4,032.93
2019年3月期	29,204	15,626	53.5	4,093.69

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 15,867百万円 2019年3月期 15,626百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				65.00	65.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	3.1	1,200	11.9	1,400	18.0	1,000	27.6	260.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	4,026,000 株	2019年3月期	4,026,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	91,546 株	2019年3月期	208,764 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	3,834,134 株	2019年3月期2Q	3,961,741 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益が底堅く推移したことを背景に所得及び雇用環境は堅調に回復、景気は緩やかな回復が持続いたしました。

世界経済においては、米中貿易摩擦や地政学リスクの高まり等、先行きが不透明なまま推移いたしました。

水産物卸売市場業界におきましては、海外での需要増加により仕入価格が高止まりし、水産資源の減少や魚の回遊水域の変化による漁獲量の減少、さらに市場外流通との競合とも相俟って取扱数量の減少が続くという厳しい事業環境で推移いたしました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、今期より本格的に稼働いたしました当社海外事業部による輸出取引の増加及び川越水産市場(株)において2019年4月より運営を開始いたしました一般消費者向け小売店舗「生鮮漁港川越」の売上高増加等により前年同四半期連結累計期間と比べ、1.3%増加の56,338百万円となりました。売上総利益は増加したものの、当社海外事業部の輸出取引に係る物流経費の増加及び貸倒引当金の繰入等により、営業利益は前年同四半期連結累計期間と比べ、51.3%減少の188百万円となりました。経常利益は、(株)埼玉県魚市場で物流センター建設に伴う補助金収入があったものの、前年同四半期連結累計期間に計上した為替差益が当第2四半期連結累計期間には為替差損となったこと等により、前年同四半期連結累計期間と比べ47.1%減少の311百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期連結累計期間と比べ48.9%減少の221百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は次の通りであります。

①水産物卸売事業

売上高につきましては、当社海外事業部による輸出取引の増加及び取扱高の増加等により前年同四半期連結累計期間と比べて2.2%増加の53,442百万円となりました。営業利益は当社海外事業部の輸出取引に係る物流経費の増加及び貸倒引当金の繰入等により前年同四半期連結累計期間と比べて48.6%減少の124百万円となりました。

②冷蔵倉庫及びその関連事業

売上高につきましては、当社で所有していた東京冷凍工場の閉鎖及びAERO TRADING社の売上高の減少等により、前年同四半期連結累計期間と比べて16.0%減少の2,532百万円、売上原価や販売費及び一般管理費の縮減に努めましたが、営業損失は8百万円(前年同四半期連結累計期間は営業利益24百万円)となりました。

③不動産賃貸事業

売上高につきましては、川越水産市場(株)において2019年4月より運営を開始いたしました一般消費者向け小売店舗「生鮮漁港川越」の売上高増加等によって、前年同四半期連結累計期間と比べて16.5%増加の364百万円となりました。営業利益は、賃貸物件の稼働率低下等に伴い、前年同四半期連結累計期間と比べて21.4%減少の96百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ37百万円増加し、29,241百万円となりました。流動資産は745百万円減少し、16,356百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が1,576百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が131百万円増加し、商品及び製品が577百万円増加したことによるものです。固定資産は783百万円増加し、12,885百万円となりました。主な要因は、有形固定資産に含まれております建物及び構築物が274百万円増加し、無形固定資産が448百万円増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ203百万円減少し、13,374百万円となりました。流動負債は19百万円増加し、7,156百万円となりました。主な要因は、短期借入金が189百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が309百万円増加したことによるものです。固定負債は222百万円減少し、6,217百万円となりました。主な要因は、長期借入金が278百万円減少したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ240百万円増加し、15,867百万円となりました。主な要因は、自己株式が266百万円減少したことによるものです。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の53.5%から54.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月7日に発表しました数値から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,078	5,501
受取手形及び売掛金	6,779	6,910
商品及び製品	3,351	3,929
仕掛品	4	28
原材料及び貯蔵品	201	129
その他	345	522
貸倒引当金	△658	△665
流動資産合計	17,102	16,356
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,516	3,791
土地	3,194	3,195
その他(純額)	1,223	1,126
有形固定資産合計	7,934	8,113
無形固定資産		
投資その他の資産	1,591	2,039
その他	2,767	2,956
貸倒引当金	△191	△224
投資その他の資産合計	2,576	2,732
固定資産合計	12,102	12,885
資産合計	29,204	29,241
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,189	3,499
短期借入金	2,939	2,750
未払法人税等	72	62
賞与引当金	90	72
株主優待引当金	—	16
その他	845	756
流動負債合計	7,137	7,156
固定負債		
長期借入金	3,587	3,309
退職給付に係る負債	1,130	1,079
株式給付引当金	28	24
資産除去債務	84	127
その他	1,609	1,676
固定負債合計	6,440	6,217
負債合計	13,577	13,374

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,376	2,376
資本剰余金	1,048	1,085
利益剰余金	12,512	12,482
自己株式	△462	△196
株主資本合計	15,474	15,747
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	490	397
繰延ヘッジ損益	1	△0
土地再評価差額金	360	360
為替換算調整勘定	△675	△621
退職給付に係る調整累計額	△24	△16
その他の包括利益累計額合計	152	119
純資産合計	15,626	15,867
負債純資産合計	29,204	29,241

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	55,621	56,338
売上原価	52,818	53,461
売上総利益	2,802	2,877
販売費及び一般管理費	2,414	2,688
営業利益	388	188
営業外収益		
受取利息	20	32
受取配当金	102	57
補助金収入	—	33
通貨スワップ評価益	0	11
為替差益	53	—
その他	67	20
営業外収益合計	245	156
営業外費用		
支払利息	16	14
為替差損	—	14
割増退職金	18	—
その他	9	4
営業外費用合計	44	33
経常利益	589	311
税金等調整前四半期純利益	589	311
法人税、住民税及び事業税	119	66
法人税等調整額	36	24
法人税等合計	155	90
四半期純利益	433	221
親会社株主に帰属する四半期純利益	433	221

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	433	221
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	47	△93
繰延ヘッジ損益	0	△1
為替換算調整勘定	△405	54
退職給付に係る調整額	18	7
その他の包括利益合計	△339	△32
四半期包括利益	93	188
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	93	188
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(従業員に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は株価及び業績向上への従業員の意欲や士気を高めるため、従業員に対して自社の株式を給付するインセンティブプラン「株式給付信託（J-E S O P）」を導入しております。

(1) 取引の概要

一定の要件を満たした従業員に対し当社株式を給付する仕組みで、個人の貢献度等に応じてポイントを付与し、一定の条件により受給権を取得したときに当該付与ポイントに相当する当社株式を給付します。従業員に対し給付する株式については、予め信託設定した金銭により将来分も含め取得し、信託財産として分別管理を行います。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額は除く。）により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度94百万円、47千株、当第2四半期連結会計期間91百万円、45千株であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)2
	水産物卸売 事業	冷蔵倉庫及 びその関連 事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	52,295	3,013	312	55,621	—	55,621
セグメント間の内部売上高 又は振替高	94	588	35	718	△718	—
計	52,389	3,601	348	56,339	△718	55,621
セグメント利益	241	24	123	389	△1	388

(注)1. セグメント利益の調整額△1百万円は、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)2
	水産物卸売 事業	冷蔵倉庫及 びその関連 事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	53,442	2,532	364	56,338	—	56,338
セグメント間の内部売上高 又は振替高	58	382	37	477	△477	—
計	53,500	2,914	401	56,816	△477	56,338
セグメント利益又は損失(△)	124	△8	96	212	△23	188

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△23百万円は、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等でありま
す。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。